

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月1日

事業所名:えすぺらんさ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	○		活動に十分なスペースを確保している	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じた事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		バリアフリー構造で目の行き届きやすい環境となっている。	
	④ 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		清潔へ配慮し、快適に過ごせる場所になるようにする	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			しっかりと振り返りを行い業務改善を図っていく
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開している	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか		○		現在は行っていない。外部からの視点を取り入れ、より良い支援が行えるようにしていきたい。
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月一回研修を実施している。研修の内容や質の向上を図ってきたい
関係機関や保護者との連携	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	○			十分なアセスメントを行ったうえで計画を作成できるように学びを深めていく。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		障がいの程度が多様であるため、個々に必要なアセスメントができるようにしている
	⑫ 児童発達支援計画には児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		支援計画を確認しながら支援を行っている	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		年間の計画を全体で行っている	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		一部の意見に偏らないように個別で立案し、振り返りを行い、他の職員からも意見を聞くようにしている	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○		利用児の状況に応じて計画を作成している	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼にて活動の目標や方法の確認など情報共有を図っている	
⑱ 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		振り返りを行い、今後の活動に活かせるようにしている		

関係機関や保護者との連携	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証、改善に繋げているか	○		日々、記録をとることを徹底している		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		今後も必要に応じて見直しを行っていく		
	㉑	児童発達支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		専門職や経験のある職員が参加している		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		適宜情報共有を行っている		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		医師や医療機関と連携できる体制を整えている		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		医師や医療機関と連携できる体制を整えている		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて情報共有を図っていく	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて情報共有を図っていく	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			コロナの感染状況が落ち着いてからどの様に交流の機会をもったらよいかを考えていく。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			業務に支障がない範囲で参加できる職員が参加し、内容を共有するようにしている	
	㉚	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか	○			送迎時に日々の状況を伝えるようにしているが、十分ではない場合もあるので、ゆっくり話をする時間を設けられるようにしていきたい。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○			行っていない。	
	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に行っている。必要に応じて追加の説明も行っていく。		
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援計画の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		説明し同意を得ている		
	保護者への説明責任等	㉞	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要な支援や助言ができるようにコミュニケーションを図っていきたい。
		㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に一回、保護者会を開催している。父母会と連携し、保護者同士の連携を支援していく。
		㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもの保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			要望や相談等があった場合には対策を検討し、可能な限り早急に返答や対応できるようにしている
㊲		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、月報を作成し活動の様子や行事の予定などを発信している		
	㊳	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○				

非常時の対応	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			コロナ感染が落ち着いたときに、交流の機会を広げられるように、どのような方法で交流ができるか検討していく。
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に対して周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			契約時に説明し、必要時には見やすい場所に掲示してあるものを確認してもらう
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		必要な訓練を行っている	
	④⑬	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		保護者経由で確認している	